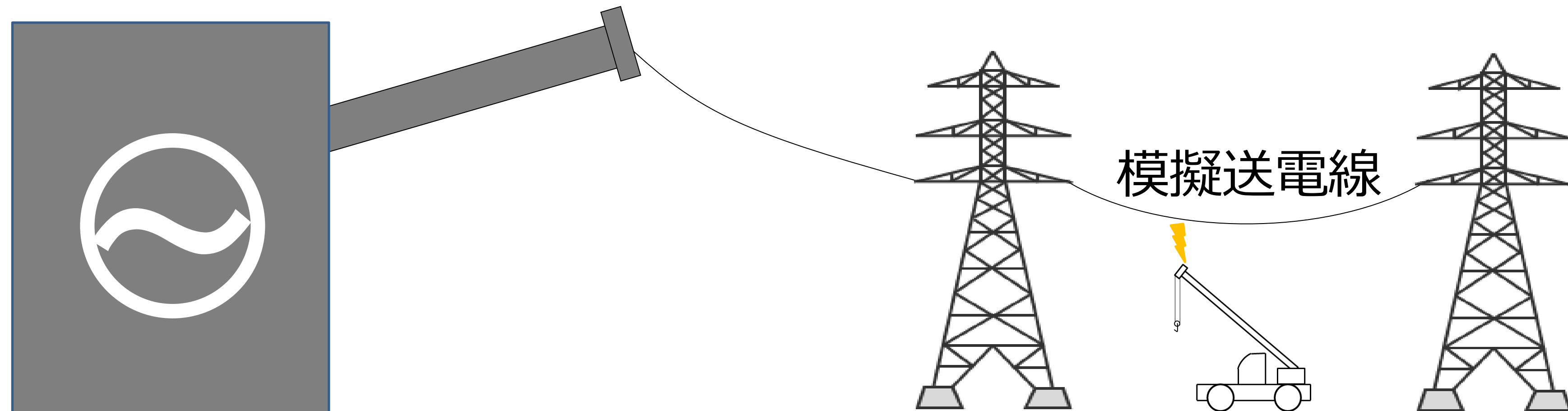


機動車接近による地絡事故の模擬実験

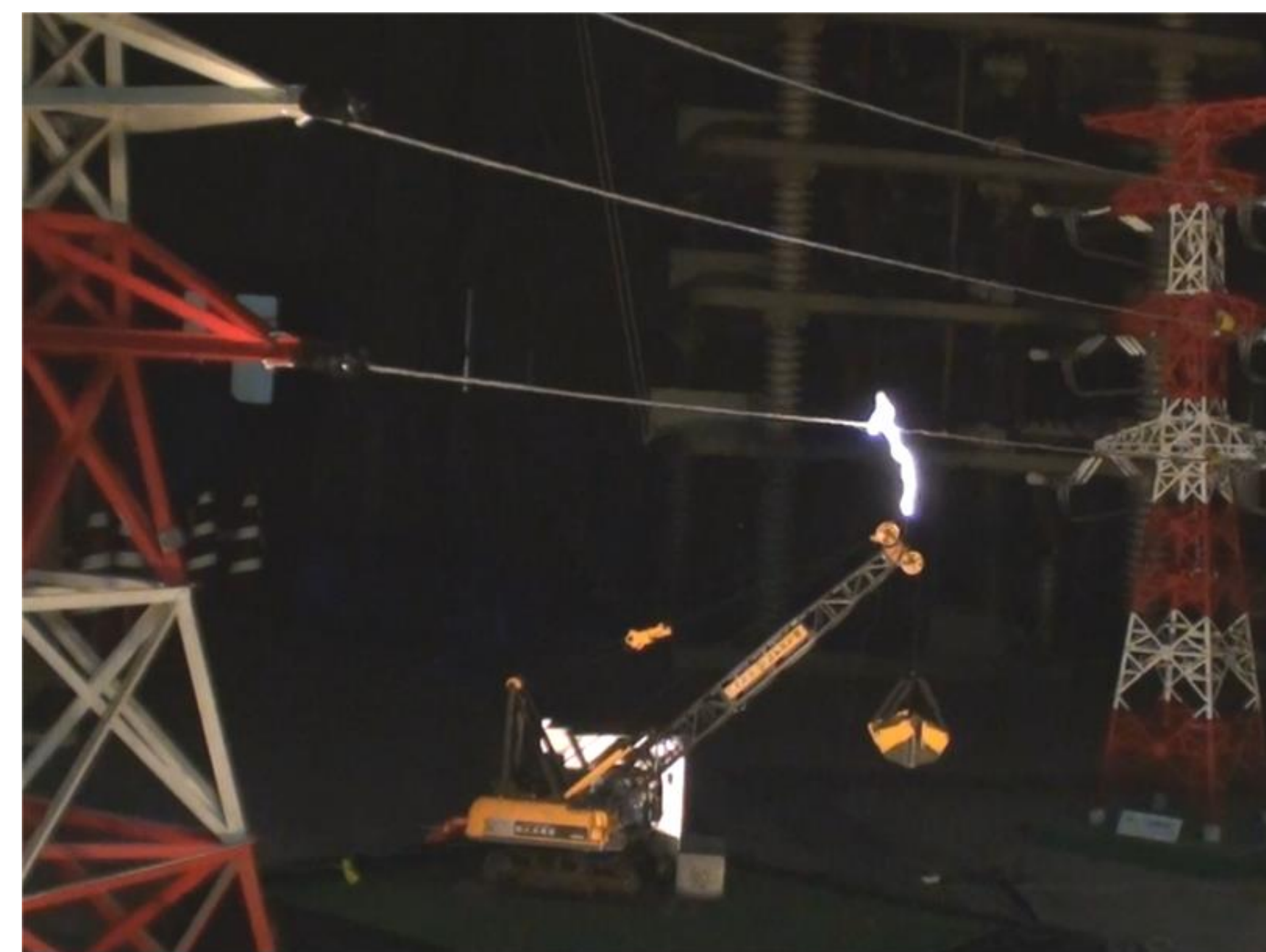
実験概要

交流高電圧発生装置を用いて、課電状態である模擬送電線に機動車（クレーン等）を接近させた際に発生する電線とクレーン間の放電の様子を模擬します。

実験装置配置図



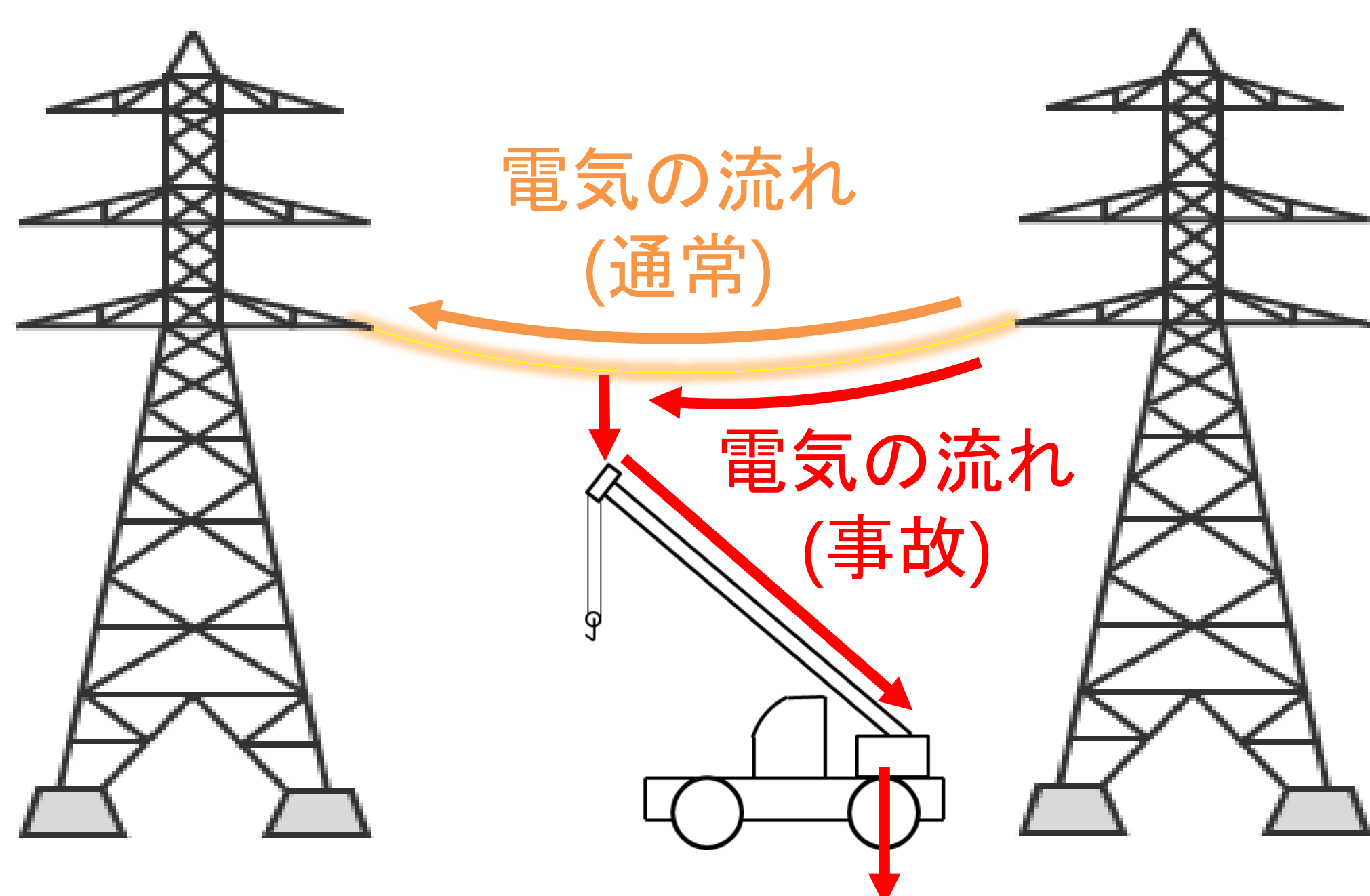
交流高電圧発生装置



地絡事故の模擬

電圧と安全な離隔距離

送電線のような高電圧の場合、電線に接触しなくともクレーンのアーム等が接近することで放電が発生する（地絡事故）。そのため、送電線周辺で作業する場合は、送電線から一定以上の距離を取る必要があります。



電線路の電圧 [kV]		より安全な距離 [m]
配電線	0.1 ,0.2	2
	6.6	
送電線	11~44	3
	66~77	4
	154	5
	275	7
	500	11

交流高電圧発生装置

この装置は交流高電圧（最高電圧：300 kV）を発生させることができ、ケーブルや接続箱の耐電圧試験などに使用しています。

出展者からのコメント

今回の実験では、課電状態である模擬送電線にクレーンを接近させた際に発生する電線とクレーン間の放電をご覧いただければと思います。



交流高電圧発生装置